



1年学年だより

発行日:令和6年1月31日(水)

発行者:横浜市立南高等学校附属中学校

学校長:遠藤 広樹 NO. 9

校長代理

中澤 務

新しい年を迎えひと月が経とうとしています。元日に起きた地震では能登半島を中心に大変大きな被害がありました。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。中学生が集団避難する様子も報道されていました。自分の学校に行くことができず、家族とも離れて生活しなければならないことを思うと本当に心が痛みます。報道の中で、「授業や友達に会えるのが楽しみ」と話していた中学生がいました。思いの全てを知ることはできませんが、その前向きな姿が強く印象に残りました。

横浜市は消防局が消防隊・救助隊・救急隊を編成して、1月8日から緊急消防援助の活動をしています。他にも水道局による応急給水や水道施設復旧の支援、資源循環局による避難所ごみ、生活ごみの収集活動や災害用トイレレーラーの派遣、健康福祉局・医療局・こども青少年局・区役所の職員による保健師チームの活動…など、現地での支援を行っていることがホームページで公表されています。いつどこで起きるかわからない災害に十分に備えるとともに、災害が起きた場合に支え合う仕組みづくりについても、附属中の皆さんとともに、自分事として考えていきたいと思っています。

南高卒業生による講演会～国際協力の現場から～

12月21日、22日と二日間にわたり、南高校63期卒業生である小野寺航大さんに、ご自身の経験をもとに、講演をしていただきました。小野寺さんは中東のレバノンで国際協力のお仕事をしていましたが、情勢の悪化で、日本政府からの通告により帰国しています。附属中生徒の皆さんに戦争や紛争の実態について、わかりやすく伝えていただきました。

ご講演の前に、小野寺さんに伺いました。

Q「なぜ、国際協力の現場に身を置こうと思ったのですか。」

A「小さい頃、ニュースで、紛争の中で苦しむ子どもの様子を見て、自分が何かしたいと思いました。高3のとき、アフリカのケニアに行き、孤児院の子どもと遊んだりしました。大学ではインターンシップやボランティアなどを行っていました。将来は国連の職員になって、世界の平和のために貢献したいと考えています。」



戦争や紛争で最も影響を受けるのはどんな人たちだろう…。小野寺さんのお話を伺いながら、生徒の皆さんは真剣に考えていました。小野寺さんは、「戦争とは人々の悲劇の集合である」との言葉で講演を締めくくっていました。質疑応答の場面ではたくさん手が挙がりました。時間によって講演会は終了しましたが、教室に戻ってからも多くの質問が出続けました。その一つひとつに後日、小野寺さんからお答えをいただきました。

今回の講演会を通して、附属中の生徒の皆さんが、今起きている戦争や紛争について、また国際協力について、大きな関心を寄せていたことを嬉しく思います。皆さんが将来、どんな場所でどんな職業に就くとしても、地球規模の課題をしっかりと視野に入れて活躍してくれることを期待してやみません。

2024 年を迎えて

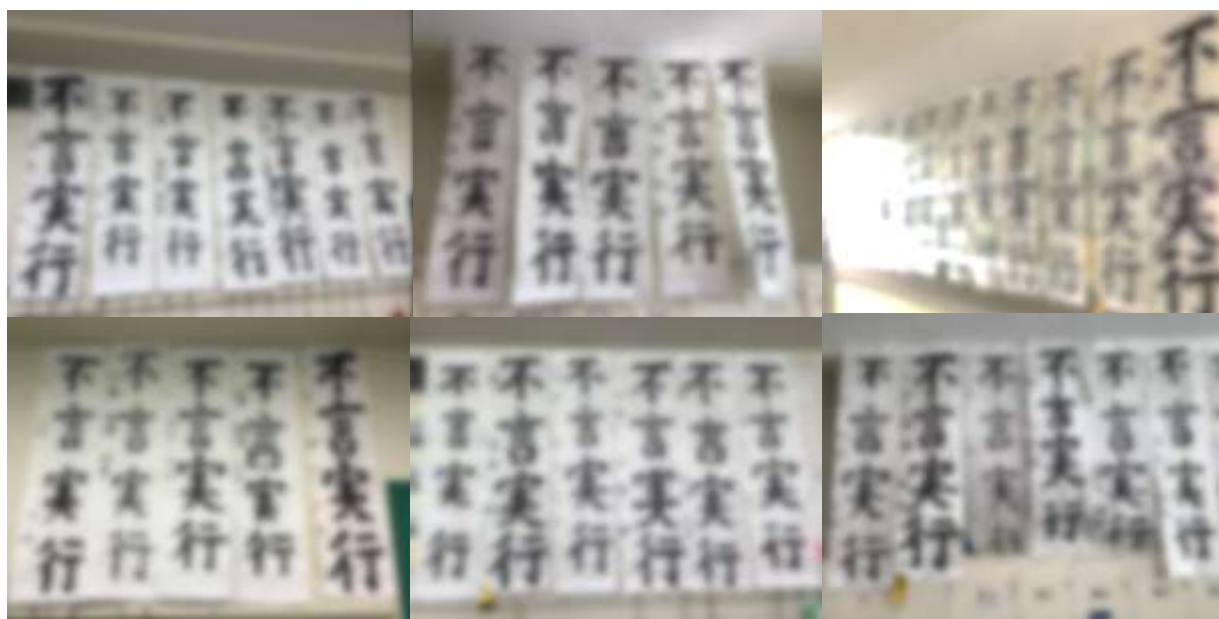
12 期生にとって大きな変化の一年となった 2023 年を終え、新たな年を迎えました。2023 年は、2/3 の受検、2/10 の合格発表、3月には慣れ親しんだ小学校の卒業と友だちとの別れがありました。4月に南高附属中学校に入学してからは、新しい友だちと仲良く過ごせるか不安を抱える一方、新しい中学校生活に期待を大きく膨らませたことと思います。中学校での初めてのテスト、南高祭体育祭の部、合唱コンクール、南高祭舞台の部・展示の部などの行事を経て、学校生活を楽しみながらあっという間に過ぎた1年だったかと思います。

2024 年は、今のクラスでの生活もあとわずかになり、4月のクラス替え、新しい友だちとの出会いがあります。13 期生の入学により、12 期の皆さんは「先輩！」と呼ばれることとなります。合唱コンクールでは初めてのクラス合唱をし、秋には中学校で初めての宿泊行事もあります。

昨年を振り返り、また今年一年の生活を思い描くことで、新たな一年に向けて「こんな自分になりたい！」という気持ちを大切にしてほしいと思います。12 期生の先生たちは、新しいチャレンジをする皆さんと一緒に楽しく学校生活を送っていきたいと思っています。悩み事もあるかもしれません。困ったときには、友だち、おうちの方、先生方など周りの人と相談していきましょう。保護者の方も、学校の先生も周りにいる大人はみんな、皆さんを支える人たちです。

12 期生に関わる全ての皆様、2024 年今年もどうぞよろしくお願いいたします。

ココロに秘める思いを込めて、書き初め！



1/30 百人一首大会

新春恒例の百人一首大会です。小学校から慣れ親しんで覚えている人、中学から新たにチャレンジしている人、持ち前の運動神経で札を狙っている人などなど、それぞれができる形で百人一首に挑戦しました。「ワー」とか「ギャー」とか大騒ぎな百人一首で、みんなが真剣に、みんなが楽しく取り組みました。



1月のテストたち・・・

1月の行事予定表を見た12期生の皆さんの反応は、「テストが・・・」でした。2週間で3種類のテストがあり、スケジュール調整に苦しんだことと思います。2月に適性検査がある関係で、詰まった日程になってしまい、皆さんに負担をかけてしまいましたが、週プランを用いて計画的に学習を進め、乗り切ることができました。計画的に準備できるようになったことが1年生の大きな成長だと思っています。

	テストの紹介および一言
1月17日(水) 基礎力診断テスト	1日で5教科の基礎・基本を確認するテストで、場合によってはオマケがつくテストです。学年末テストに向けて、このテストで自分の習熟度を把握し、苦手なところの復習にいかしましょう。
1月19日(金) 英検	日本英語検定協会による実用英語技能検定の準会場として、一次試験に取り組みました。本会場ではなく慣れ親しんだ学校で受けることができ、力を発揮できたことと思います。普段の英語の授業や家庭学習をもとに、自分のペースで級の取得を目指していきましょう。
1月25日(木) 学力推移調査	Benesseによる学力調査です。中高一貫の学校が受ける調査で、3年間を通して皆さんの学力の推移を見ることができます。1年間でどのような変化があったか、学力だけでなく就寝時間や学習時間などの生活状況についてもじっくり見てみましょう。

今月の“よし👍”ポイント！

EGGのポスターセッションについての説明時間のことでした。食堂に集まったとき、一人の生徒が「やった、一番前。特等席！」と言ったのです。なんて素敵な考えで、素敵なことばなんだろう、と思いました。それを聞いた周りの人も、きっとポジティブな気持ちになったことでしょう。口から発せられたこと(=ことば)が自分や、周りの人の感情や行動になり、その先の未来をつくります。逆に言えば、誰かの未来に自分も関わっているのだと考えます。ポジティブな声掛けをし合える集団って素敵ですね。